

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 2 月 20 日 (2014.2.20)

【公開番号】特開 2011-4389 (P2011-4389A)

【公開日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報 2011-001

【出願番号】特願 2010-90918 (P2010-90918)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 B 1/59 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 B 1/59

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 1 月 6 日 (2014.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部機器と通信を行う通信機器であって、
前記外部機器との間で通信を行う通信手段と、
前記通信機器のモードを前記通信手段が前記外部機器と通信を行うための通信モードを含む複数のモードに設定する制御手段とを備え、
前記制御手段は、前記通信モードにおける、前記通信手段による第 1 の外部機器からのデータの受信に応じて、前記通信機器を前記通信モードに設定した状態で、前記受信したデータの少なくとも 1 つを第 2 の外部機器に送信するか否かをユーザに問い合わせることを特徴とする通信機器。

【請求項 2】

前記通信手段による通信の切断を検出する検出手段を更に備え、
前記制御手段は、前記通信手段が前記第 1 の外部機器からのデータの受信を完了した後、前記検出手段により前記第 1 の外部機器との通信の切断が検出されたことに応じて、前記第 1 の外部機器から受信したデータの少なくとも 1 つを前記第 2 の外部機器に送信するか否かをユーザに選択させるための問い合わせ画面を表示装置に表示することを特徴とする請求項 1 に記載の通信機器。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記通信手段により前記第 1 の外部機器から受信したデータの転送が許可されているか否かを判定し、転送が許可されていると判定した場合に前記問い合わせ画面を表示し、転送が許可されていないと判定した場合には、前記通信機器を前記通信モードから他のモードに変更することを特徴とする請求項 2 に記載の通信機器。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記通信手段が前記第 1 の外部機器から受信した識別情報と、前記通信手段が前記第 2 の外部機器から受信した識別情報とが一致するか否かを判定し、前記第 1 の外部機器の識別情報と前記第 2 の外部機器の識別情報とが一致すると判定した場合に

、警告を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の通信機器。

【請求項 5】

前記通信手段は、前記第 1 の外部機器から受信したデータを保持したことがある機器を示す履歴情報を前記第 1 の外部機器から受信し、

前記制御手段は、前記通信手段が前記第 2 の外部機器から受信した前記第 2 の外部機器の識別情報が、前記第 1 の外部機器から受信したデータに係る履歴情報に含まれているか判定し、前記第 2 の外部機器の識別情報が前記履歴情報に含まれていると判定した場合に、警告を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の通信機器。

【請求項 6】

前記通信手段が受信したデータを記憶媒体に記憶し、前記記憶媒体からデータを読み出す記憶媒体制御手段を更に備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の通信機器。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記問い合わせの結果、送信が指示された場合には前記通信機器を前記通信モードに設定した状態で、前記受信したデータを第 2 の外部機器に送信するように前記通信手段を制御し、送信が指示されなかった場合には前記通信機器を前記通信モードから他のモードに変更することを特徴とする請求項 1 に記載の通信機器。

【請求項 8】

前記制御手段は、前記問い合わせの結果、送信が指示された場合には前記通信機器を前記通信モードに設定した状態で、前記受信したデータを第 2 の外部機器に送信するように前記通信手段を制御し、前記第 2 の外部機器へのデータの送信が完了すると、自動的に前記通信機器を前記通信モードから他のモードに変更することを特徴とする請求項 7 に記載の通信機器。

【請求項 9】

前記通信手段は、近接無線通信により前記外部機器と通信を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の通信機器。

【請求項 10】

前記制御手段は、前記通信手段が前記外部機器の近接を検出すると、自動的に前記通信機器を前記通信モードに設定することを特徴とする請求項 9 に記載の通信機器。

【請求項 11】

外部機器と通信を行う通信機器であって、

前記外部機器との間で通信を行う通信手段と、

複数のモードのうち、前記通信手段が前記外部機器と通信を行うための通信モードを設定するモード設定手段と、

前記外部機器に対して送信するデータを選択する選択手段と、

前記選択手段により選択されたデータを前記外部機器に送信するよう前記通信手段を制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、前記通信モードにおける、前記通信手段による前記外部機器に対する前記選択されたデータの送信に¹応じて、前記通信機器を前記通信モードに設定した状態で、前記選択されたデータの少なくとも 1 つを他の外部機器に送信するか否かをユーザに問い合わせることを特徴とする通信機器。

【請求項 12】

前記通信手段は近接無線通信により通信を行い、前記制御手段は、前記通信モードにおいて、前記通信手段が前記近接無線通信による通信が可能な状態になると前記選択されたデータの少なくとも 1 つを送信するように前記通信手段を制御することを特徴とする請求項 11 に記載の通信機器。

【請求項 13】

前記制御手段は、前記問い合わせの結果、送信が指示された場合には前記外部機器と近接無線通信を行うために前記外部機器に対して近接を促す画面を表示し、前記外部機器との間で近接無線通信が確立されたことに²応じて通信を開始するように前記通信手段を制御することを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の通信機器。

【請求項 1 4】

前記データは、画像データであることを特徴とする請求項 1 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載の通信機器。

【請求項 1 5】

外部機器との間で通信を行う通信手段を備え、前記通信手段が前記外部機器と通信を行うための通信モードを含む複数のモードを有する通信機器の制御方法であって、

前記通信モードにおける、前記通信手段による第 1 の外部機器からのデータの受信に応じて、前記通信機器を前記通信モードに設定した状態で、前記受信したデータの少なくとも 1 つを第 2 の外部機器に送信するか否かをユーザに問い合わせることを特徴とする制御方法。

【請求項 1 6】

外部機器との間で通信を行う通信手段と、複数のモードのうち、前記通信手段が前記外部機器と通信を行うための通信モードを設定するモード設定手段と、前記外部機器に対して送信するデータを選択する選択手段とを備える通信機器の制御方法であって、

前記通信モードにおける、前記通信手段による前記外部機器に対する前記選択されたデータの送信に応じて、前記通信機器を前記通信モードに設定した状態で、前記選択されたデータの少なくとも 1 つを他の外部機器に送信するか否かをユーザに問い合わせることを特徴とする制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の通信機器は、外部機器と通信を行う通信機器であって、前記外部機器との間で通信を行う通信手段と、前記通信機器のモードを前記通信手段が前記外部機器と通信を行うための通信モードを含む複数のモードに設定する制御手段とを備え、前記制御手段は、前記通信モードにおける、前記通信手段による第 1 の外部機器からのデータの受信に応じて、前記通信機器を前記通信モードに設定した状態で、前記受信したデータの少なくとも 1 つを第 2 の外部機器に送信するか否かをユーザに問い合わせる。